

### 3 / 18 校長講話

前回の全校朝会の時に「3つの場所を意識して月の締めくくりをしましょう。」と伝えました。覚えていますか。

- 1 玄関です。つまり昇降口です。
- 2 トイレなど皆が使う場所です。
- 3 掃除ロッカーです。

多くの学級で意識してくれているので嬉しく感じています。

さて、今日は光が丘夏の雲小学校の校歌について伝えます。

私は、校歌が大好きです。なぜなら、曲はとても明るく元気が出ます。また、歌詞は、とても前向きで夏雲小の子供たちそのものを表しているように感じます。

では、この校歌はどのようにつくられたのでしょうか。

以前にも伝えたように光が丘夏の雲小学校は、2つの学校が統合しました。そのため、新しい校歌を作ることになりました。校歌を作るにあたって、子供たちや地域の皆さんから入りたい言葉や新しい学校への思いなどを募集したところ、300以上の言葉が寄せられたそうです。

それぞれの言葉とそこに込められた思いを、歌を作る方（作詞・作曲家）にお伝えして校歌を作っていただきました。

作詞してくださった石原一輝さんは、校歌について次のように述べています。

皆さんから届いた、たくさんの心のこもった言葉やフレーズを使わせていただいて校歌の詩が出来上がりました。光が丘の町と、自然豊かな環境を一日拝見し、2つの学校の伝統と皆さんから寄せられた思いを重ね合わせ、夢と希望、そして未来へ伸びていく子供たち、学校の姿を歌いました。いつまでも心に残っていただけることを願っています。

夏の雲小学校の校歌は多くの方々の思いが詰まった歌です。

今週の修了式、また、5・6年生は卒業式の時に歌います。ぜひ人々の思いを考えながら歌ってみてください。

